

第15回 よむゾーくん大賞 ブックリスト



藤枝市立図書館

はじめに

近年、全国的に「読書離れ」や「活字離れ」が叫ばれる中、本市においても、読書を楽しむ方と興味がない方との2極化が進行しています。子どもが「本」と関わる時間が少なくなることで、幼少の頃に伸ばすことができる感性や表現力、創造力を低下させてしまうなどの深刻な影響があると言われてしています。

幼少の頃から本に親しみ、読書の喜びや楽しみを知ることは、子どもたちの知性や感性を育てていく上でとても重要なことです。周りの大人をはじめ関係機関が理解、連携、協力し、子どもたちが本に触れたり、読書に親しむ機会を積極的に提供するとともに、その楽しさや大切さを感じ得るような環境づくりに取り組む必要があります。

本市では、平成19年5月に策定した「藤枝市子ども読書活動推進計画」で家庭・学校・地域等が連携・協力して総合的に子どもの読書活動を推進することを掲げ、子どもの読書環境の整備に取り組んでまいりました。

また、令和3年3月には第4次計画（令和3年度から7年度の5か年）を策定し、さらなる子ども読書活動の推進を図っています。

その取り組みの1つとして、今年度も、子どもの読書活動を啓発することを目的とし、「よむゾーくん大賞」を開催しました。この事業は、子どもたちが、1年間に読んだ本の中で「この本、ぜひ読んでみてほしい！」とおすすめしたい本を、文章と絵で紹介するものです。第15回となる今回は、小学生から高校生まで過去最高の2,985点もの応募をいただきました。この応募作品の中から選ばれた入賞作品について、ブックリストにまとめましたので、ご活用ください。

令和5年2月

藤枝市教育部図書課

目 次

市 長 賞	1
教 育 長 賞	3
図 書 館 協 議 会 長 賞	4
入 選	6

各作品横のボタンを押すと、紹介されている本の情報を
藤枝市立図書館ホームページで見ることができます

市長賞

小学生低学年の部

高洲南小学校

1年

中村 悠暉 さん

ウミガメものがたり

童心社

鈴木 まもる／作・絵

Eスズちしき



この本の主人公はメスのウミガメです。このものがたりは、タマゴが大人にせいちょうするまでがかいてあります。この本をよんでぼくは、おかあさんガメがたくさん子どもをうんでも、ほとんどの、子ガメは海にいけないうところが、かんどうしました。ウミガメのすごいところは、ふる里の日本から10000キロはなれたカリフォルニアの海までいくことです。さいきんプラスチックゴミをすてる人が多いので、みなさんも気をつけてください。

市長賞

小学生高学年の部

藤枝中央小学校

6年

桑原 幸音 さん

君の嘘と、やさしい死神

ポプラ社

青谷 真未／〔著〕

Y913.6アオ



幼少期のトラウマから「嫌だ」と言えない高校生、百瀬太郎。三ヶ月後に控えた文化祭準備で多忙な日々を送る百瀬の前に現れたのは落語がしたい同級生、美園玲。百瀬を振り回す玲だったが、実はとある嘘をついていた。私は、いつも強気な玲から垣間みえる本音に胸が締めつけられる気持ちになりました。特に落語の演目を佃祭にした理由を知ったときは、玲の自分についての様々な葛藤が表れていたことに驚きました。ぜひ、読んでみてください。

市長賞

中学生の部

西益津中学校

1年

渡水 ルイ さん

収容所（ラーゲリ）から来た遺書

文藝春秋

辺見 じゅん／著

B916ヘン



第二次世界大戦後、異国の収容所に60万人が送られ、帰国まで11年という地獄を生きた人達の実話。零下40℃の極寒で強制労働を強いられ、凍傷や飢えで死ぬ人が多くいた中、山本幡男さんという実在した人物は日本で待つ家族の再会を願い、ダモイ（帰国）という希望、生きるのを諦めない信念、仲間を思い励まし支え合いました。帰国叶わず病気で死んでしまうのですが、仲間が命懸けで山本幡男さんの遺書を家族に届ける方法に感動です。

市長賞

高校生の部

藤枝西高校

1年

川口 優花 さん

世界でいちばん貧しい大統領からきみへ

汐文社

〔ホセ・ムヒカ／著〕

くさば よしみ／編

289ムヒカコ



私が紹介したい本は「世界でいちばん貧しい大統領からきみへ」という本です。この本はウルグアイの元大統領ホセ・ムヒカさんのスピーチを元にした本です。本文には「貧乏とは、無限に多くを必要とし、もっと欲しがることである」と書いてあります。持っているお金や物が少ないことを貧乏というのではない、と新たに学ぶことができました。今世界では、貧富の差が激しくなっている問題があります。この本を読んで、もう一度世界について考えてほしいです。

教育長賞

小学生低学年の部

青島東小学校

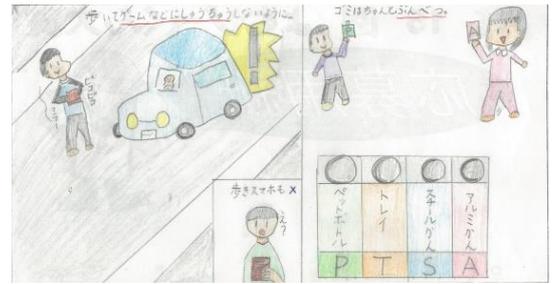
3年 横田 優杏 さん

ルールとマナー

旺文社

関 和之／マンガ・イラスト

385ル



「学校では教えてくれない大切なこと」は40シリーズあって、その中の「ルールとマナー」について紹介します。自分のことや相手のことを知る大切さと世の中のさまざまな仕組みがマンガ形式で楽しく描かれています。ルールとマナーがどうして必要なのか、ルールとマナーを守ると安全に生活できる。相手を思いやる気持ちが生まれるなど読み終わって、ルールとマナーをチェックしてみると「考えるって楽しい。」「わかるってうれしい。」と思うようになります。

教育長賞

小学生高学年の部

青島小学校

6年 田崎 茜 さん

ラベンダーとソプラノ

岩崎書店

額賀 滯／作

いつか／絵

913又カ



「みんなで頑張る」とはどういうことでしょうか。ある目標を達成することだけに必死になり、まわりのことが見えなくなる。これは本当に、「みんな」で頑張っているといえるのでしょうか。この本は、人それぞれの「頑張り方」について、主人公の真子たちが所属する、小学校の合唱クラブでのできごとを通して考えさせてくれる本です。私は、真子が元のような合唱をするために行動を起こし、成長していくところが好きです。ぜひ読んでみてください。

教育長賞

中学生の部

瀬戸谷中学校

1年 古谷 希 さん

あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。

スターツ出版

汐見 夏衛／著

Y913.6シオ



毎年、八月頃は戦争の報道が多い。怖いから見たくないと思うあなたへ。この本を読んで私も変わりました。昔、日本で起きた戦争、世界で今起きている戦争なんて、私には関係ないと思っていました。でも、この本を読み始めると戦争時代に来てしまった百合に共感してしまいました。そこで百合が経験したことは、まるで自分が体験したかのように感じるほどです。読み終わった頃には戦争に対して涙が止まりません。ぜひ読んで下さい。

教育長賞

高校生の部

藤枝西高校

1年 増田 倫奈 さん

雨の降る日は学校に行かない

集英社

相沢 沙呼／著

913.6アイ



「なぜ学校に行かなくてはならないのか」みなさんも一度は疑問に思ったことがあると思います。私が紹介する本は、学校生活に息苦しさを感じている女子中学生を主人公とした短編集です。等身大の私たちだからこそ共感できる複雑な人間関係、友達間の地位、いじめ。決してハッピーエンドではないけれど、毎回少しの希望が見える。自分が主人公ならどう向き合うのか、クラスメイトなら何ができるのか、ぜひ一度この本を読んで考えてみて下さい。

図書館協議会長賞

小学生低学年の部

青島小学校

3年 竹内 結那 さん

りんごかもしれない

ブロンズ新社

ヨシタケ シンスケ／作

Eヨシ



この本は、「かもしれない。」と、そうぞうをふくらませるお話です。おとこのこが、学校からかえってきたら、テーブルの上にりんごがおいてありました。「このりんごの中身は何だろう。もしかしたら…。」と、おとこのこが言って、あんなふうなのかもしれない、こんななのかもしれない。と、考えはじめました。そのおとこのこが考えたのが、「何かのたまごかもしれない。」など、とてもおもしろいのでぜひ読んでみてください。

図書館協議会長賞

小学生高学年の部

藤枝中央小学校

6年 勝山 優稟 さん

お笑い芸人と学ぶ13歳からのSDGs

くもん出版

たかまつ なな／著

佐藤 真久／監修

Y333.8夕



この本は、たかまつななさんが実際に体験したことをもとに、SDGsについてくわしく書かれています。例えば、目標五ジェンダー平等を実現しようというページには、自分が「女なのに芸人になるなんて。」と言われたことがあるそうです。これからはそんなことがないように、解決策も書かれています。このような、少しのことから、世界につなげることができます。みなさんもぜひ、SDGsのことを知ってみませんか？

図書館協議会長賞

中学生の部

高洲中学校

1年

工藤 莉美 さん

笑う数学

KADOKAWA

日本お笑い数学協会／著

410.47



「数学」と聞いて、どんなイメージを思い浮かべるだろうか。難しいと思う人も多いのではないか。この本には、ユニークな要素が盛り込まれた、百個もの数学ネタがまとめられている。例えば、マグロの数え方の状態による変化や、年齢別年齢の褒め方などがある。中には、試験にも使える、実用的なものもある。読み終わる頃には、数学が少しでも好きになれる本だと思う。あなたも、この本を手に取り、数学の扉を開いてみてはいかがだろうか。

図書館協議会長賞

高校生の部

藤枝西高校

1年

野村 悠莉 さん

一瞬で自分を変える言葉

KADOKAWA

清水 康一郎／著

セミナーズ編集部／訳

159シ



この本は、私が中学3年生の時に父からおすすめされ読み始めました。アンソニー・ロビンズという作家の名言集です。本の名前の通り、ネガティブな自分の、世界の見方を変えてくれたり、あきらめそうな時、励ましてくれたりします。名言が七十五個と多いですが、一つひとつが大切に、心をつかまれる言葉ばかりです。私もこの本を読んでから、あきらめそうな時何度も救われました。ぜひ自分の人生と照らし合わせて読んでみてください。

入選

小学生低学年の部

青島東小学校

2年

青島 陽花 さん

ルルとララのフレンチトースト

岩崎書店

あんびる やすこ／作・絵



913アン

わたしは、ルルとララのシリーズの本をよく読みます。ルルとララのお話では、おかしの作り方のせつめいが、絵もあってわかりやすいです。一番のお気に入りには、フレンチトーストのお話です。わたしが作ったことがない、いちごやココアのあじものっているところがよかったです。お話が楽しくて、絵もかわいいので、おすすめです。いろんなシリーズがあるので、みなさんもぜひ読んでじぶんのお気に入りを見つけてみてください。

入選

小学生低学年の部

高洲南小学校

2年

小林 葵 さん

パンのずかん

白泉社

大森 裕子／作

井上 好文／監修



Eオオ ちしき

おすすめする本は、パンのずかんです。メロンパンだったら日本で作られたパンって書いてあったり、そのパンのことをいろいろ書いてあって見るだけでも楽しい本だからおすすめです。ページごとに、はさむパンだったりぺたんこパンって書いてあったりして分かりやすいから、おすすめのところいっぱいあります。絵もリアルでおいしそうでした。ぜひ読んでみてください。

入選

小学生低学年の部

西益津小学校

2年

増田 虎太郎 さん

あおいけのだいじゃ

藤枝市岡部支所

むらまつ けーじ／文・絵



Eムラ昔話にほん

だいじゃは、ひとりぼっちでめったに池にひともこず、いつもさみしくてなっていました。ときはたち、ちょうらくさいふうふの間には、いわいひめというとてもかわいいむすめが生まれました。いわいひめは、あおいけに行き、だいじゃといわいひめがなかまになるおはなしです。この本のかんどうするところは、いわいひめと大じゃがりょうおもいというところです。ぼくは、りょうおもいだなあと思いました。ぜひみなさんも読んでみてくださいね。

入選

小学生低学年の部

葉梨小学校

3年

金森 知優 さん

時間の女神のティータイム

ポプラ社

あんびる やすこ／作・絵



913アン

この本をえらんだ理由は、表紙に「まほう」や「ティータイム」と書いていてとてもわくわくしたからです。この本で好きな所は、「のんびり屋さんのハーブティー」と言うお話です。薬を飲むのがにがてなのんびり屋のたちのキャミーは、ハーブティーの中に薬を入れて薬の味をわからなくしてのめるようになった所が、おどろいたしなるほどと思いました。わたしも、ハーブティーをのんで、心をホッとさせたいです。

入選

小学生低学年の部

藤枝小学校

3年

内藤 麻弥 さん

自然とともに生きよう

ほるぷ出版



519シ

この本は、自然かんきょうの事がかかれています。ぼくが心にのこったところは、「消えゆく生き物たち」のページです。なぜかという、世界の名前がついている生物で、百七十四万二千種の中で、五千種が絶滅の危険にあるからです。中には人間の楽しみで殺されることもあります。みつりょうや、動物の角などを、売買する人です。このような人がいると悲しいです。この本は、自然の大切さや、消えていく動物を知りたい人におすすめです。

入選

小学生低学年の部

藤枝中央小学校

3年

鬼塚 ひかる さん

レインボーとふしぎな絵

あすなろ書房

エミリー・ロッド／作



933口ツ

さくま ゆみこ／訳

この本の主人公・レインボーは絵かきが好き。そんなレインボーが画家のイベントによべれます。この本のオススメポイントは、レインボーがゆうしょうした所です。知り合いからもらったジャムを絵にぬって、アリンコの町みたいな絵を人前に出すなんて、おどろきでびっくりしました。ほかに、チュウチュウ通り3番地のフィーフィーのすてきな夏休み、などあるのでぜひ読んでみてください。

入選

小学生低学年の部

藤枝中央小学校

3年

山下 碧 さん

イヌと友だちのバイオリン

ポプラ社

デイビッド・リッチフィールド／作



Eリツ

俵 万智／訳

わたしは、イヌと友だちのバイオリンという本がすきです。なぜかという、バイオリンひきのヘクターと、イヌのヒューゴが思い合っているすてきな本だからです。年をとってやめたヘクターのかわりにヒューゴがバイオリンをひいて、世界ツアーする楽団に入って、さいごにヘクターとヒューゴでえんそうしました。たとえばがう場所ではなれていても2人はいつもずっと友だちということがすごく心のこりました。

入選

小学生低学年の部

西益津小学校

3年

池田 友愛 さん

魔女のうらないグミ

PHP研究所

草野 あきこ／作



913クサ

ひがし ちから／絵

「うらないグミ」は、ふしぎで、すこしこわいグミでした。タケルが弟のきれいな物をはこをふりながら言うとうらないグミができます。わたしにも兄がいます。もし、わたしも兄に大きなグミをわたされたらよろこんで食べてしまいます。かみなりグミを食べたらきっとふとんにかくれます。そんな時、兄はやさしく声をかけてくれるかな。タケルみたいにいっしょにいてくれたらいいなと思います。

入選

小学生低学年の部

青島小学校

3年

八木 美織 さん

飛べ！千羽づる

講談社

手島 悠介／著



B916テシ

この本は、平和の大切さと、原爆のおそろしさを知れる本です。この物語に出てくる佐々木禎子さんは六年生になったある日、白血病と診断されます。実は2才のとき原子ばくだんでひがいをうけていたのです。禎子さんはある日、千羽づるに出会います。禎子さんは千羽おったけれど、ねがいはとどきませんでした。みなさんもこの本をよんで原爆がどれだけこわいか、平和ってどれだけ幸せかを知ってほしいです。

入選

小学生低学年の部

青島東小学校

3年

中江 実月 さん

キュリー夫人

ポプラ社

小林 可多入／漫画



289キユリ

朽山 修／監修

このお話は、キュリーふじんが、べん強をたくさんし、かがく者になります。そして、ピエール・キュリーと出会い、けっこんをします。そこから、二人は、じっけんをし、がんをなおす、ラジウムの発見で、ノーベルしょうがおくられました。ですが、ある日、ピエールが大学に行く時、ピエールは馬車にひかれてしまいました。なので、キュリーふじんは、一人で、じっけんをすることになりますが、ゆきをだしてがんばるすがたが、かっこいいと、思いました。

入選

小学生高学年の部

高洲南小学校

4年

永田 清 さん

でんでんむしのかなしみ

Eスズ童話

新樹社

新美 南吉／文

鈴木 靖将／絵



わたしは、「でんでんむしのかなしみ」という絵本がお気に入りです。このお話は、主人公のでんでんむしが、自分だけかなしみをせおっていると思いこんでいたけれど、だれもがかなしみをせおっていることを知っていく物語です。いつも笑っている人でも、かなしみをせおっていることを気づけるのでぜひ、見かけたら読んでみてください。

入選

小学生高学年の部

高洲南小学校

4年

北川 依和里 さん

教室はまちがうところだ

Eハセ

子どもの未来社

蒔田 晋治／作

長谷川 知子／絵



ぼくがしょうかいする本は、「教室はまちがうところだ」という本です。この本、とある学校のクラスのお話で、まちがっていることがこわくて発表をしない子のお話です。とくにすきな場面は、その子が初めて発表をしたときに、ぼそぼそと小さい声でしか発表できなかったけれど、みんなからはくしゅがきて初めての発表を祝う場面です。この本を読むと、すごく勇気がわいてくるので、ぜひ読んでみてください。

入選

小学生高学年の部

葉梨小学校

4年

前島 未空 さん

手足のない千アリーダー

B916サノ

KADOKAWA

佐野 有美／著

山田 デイジー／絵



この本は、「先天性四肢欠損症」という病名を持ち生まれてきた、有美さんのお話です。小さいころから色々なことにちょう戦っていて、とても元気づけられます。こんなな問題に直面しますが、なやんでなやんでなやみぬいて、結論を出したのです。「どんなときも笑顔でいること。」と「オドオドしないで大きな声で話すこと。」読むととても勇気づけられるのでぜひ読んでみてください。

入選

小学生高学年の部

藤枝小学校

4年

鈴木 彩世 さん

この世界からサイがいなくなってしまう

489ミ

学研プラス

味田村 太郎／文



この本は今アフリカで起きていることが書かれています。アフリカでは、密りょう者にサイが殺されて野生のサイがどんどん減っています。サイを守るために、密りょう者と戦う人がいます。同じ人間なのに、動物を殺す人もいれば、必死に守る人もいます。人間だけが幸せに暮らせばいいわけではない。人間も動物もみんなが地球上で幸せに暮らせるように、世界中で考えなくてははいけないと思う。だからみんなもぜひこの本を読んで一緒に考えてください。

入選

小学生高学年の部

青島小学校

4年

中嶋 円香 さん

あるかしら書店

ポプラ社

ヨシタケ シンスケ／著



726.6日

この本は、〇〇についての本ってありますか？と聞くと、おくらたいいその本を出してきてくれる本屋のお話です。私が好きなのは「本のその後」です。ポロポロになった本は、本リサイクルセンターで物語、作者の気もちなどに分けられ、さらに「物語」は、喜怒哀楽まで細かく分けて、こっそり社会の中にとけこませるらしいです。本当だったらおもしろいなど、想像のふくらむ絵がたくさんです。みなさんも、ぜひ読んでみてください。

入選

小学生高学年の部

西益津小学校

5年

戸塚 健太郎 さん

おしえて！さかなクン

さかなクン／文・絵

中坊 徹次／監修・コラム



487サ1

この「おしえて！さかなクン」はさかなクンが深海魚やめずらしい魚など魚の生態をイラストと面白い話で書かれているので読みやすいです。一つの魚の話の終わりに豆知識も書いてあったり、その魚を食べた感想も書いてありました。この本は、魚のことが好きな人や、あまりくわしくない人でも読みやすいと思います。めずらしい魚や深海魚、食べておいしい魚のみ力を知ってもらいたいので、ぜひ読んでください。

入選

小学生高学年の部

青島小学校

5年

宇都木 史音 さん

カラスのいいぶん

童心社

嶋田 泰子／著

岡本 順／絵



488シ

私が、この本を読んで、いちばんびっくりしたことは、カラスが箱の中に入っているたまごを口にくわえて運んだり、公園のすべり台で遊んだりする、ということです。この本では、作者とカラスがだんだん仲よくなっていくお話がえがかれています。カラスの能力をしったり、カラスと仲良くなりたいと思っている人も、カラスはきらいだと思っている人も、この本を読めば、カラスについて、くわしくなれると思います。ぜひ読んでみてください。

入選

小学生高学年の部

葉梨西北小学校

5年

大坂 玲生 さん

鬼遊び

小峰書店

廣嶋 玲子／作

おとない ちあき／絵



913七口

鬼遊びという本には、たくさんのお話が入っています。その中でもわたしが好きな話は、花輪あみです。この話には、サチという女の子が出てきます。サチは、友達のみよと花輪を作ることにします。でも、サチはみよに入ってはいけないと言われた林に入ってしまう。林に入ってしまったサチはどのようなのかな、など考えながら読むととても楽しいです。鬼遊びに出てくる話は少しだけこわいけれどおもしろいので、ぜひ読んでみてください。

入選

小学生高学年の部

藤枝中央小学校

6年

袋井 心愛 さん

僕と君の365日

ポプラ社
優衣羽／〔著〕



YB913.6ユイ

私が選んだ『僕と君の365日』は、主人公の新藤蒼也は「無彩病」にかかってしまいます。無彩病とは、だんだんと色が見えなくなり一年後には世界が白黒になり、亡くなってしまう病気です。治療法は無しという病気にかかり蒼也は、その事をだれにも話しませんでした。でもクラスの立波緋奈に知られてしまい、緋奈が、「死ぬまで付き合う。」と言いだし契約のように付き合いはじめました。でも両者共好きになってしまい最期亡くなる時の行動が見所です。

入選

小学生高学年の部

青島北小学校

6年

和田 采鈴 さん

「私が笑ったら、死にますから」と、 水品さんは言ったんだ。

ポプラ社
隙名 こと／〔著〕



YB913.6ヌキ

この本は、主に、悲しい過去のせいで「笑いたくても、笑えなく」なってしまった水品さんと、不運で不幸な過去のある俺の物語です。「十五分で一万円のアルバイト」を水品さんに誘われて始めた俺。そしてだんだんと解けていく謎。私は、この本を読んで、「何気なくした発言や行動が人を傷つけているかもしれない」ということと、「過去にとどまらず一歩踏み出す」ということを教えてもらいました。読んで損はないと思います。

入選

中学生の部

高洲中学校

1年

佐藤 ひなた さん

モモ

943エン

岩波書店

ミハエル・エンデ／作

大島 かおり／訳



この本は主人公のモモが灰色の男から盗まれた時間を取り返すというファンタジーの物語です。私がこの本を気に入っている理由は、気持ちを表す表現が豊かでとても心に響くからです。この本を読むと自然と笑えたり涙が出たり鳥肌が立ったり。作者の感情表現の豊かさを感じるとともに、様々な感動を味わえるところが、この本の大きな魅力だと思います。モモの思いが人々を動かすこの感動を、もっと多くの人に読んでもらいたいです。

入選

中学生の部

大洲中学校

1年

池谷 璃乃 さん

西の魔女が死んだ

B913.6ナシ

新潮社

梨木 香歩／著



この本は、私が読んできた本の中で一番おもしろいと感じた本です。中学に入学してまもなく、どうしても学校へ足が向かなくなってきた主人公のまいは、季節が初夏へと変わるひと月あまりを西の魔女のもとで過ごしました。西の魔女とは、大好きなおばあちゃんのことです。まいは、魔女の手ほどきを受けるが、魔女修行の大切な要点は、何でも自分で決めることでした。私はこの本を読んで思春期についても考えさせられました。皆さんも是非読んでみてください。

入選

中学生の部

広幡中学校

1年

小泉 明 さん

そして、バトンは渡された

913.6セオ

文藝春秋

瀬尾 まいこ／著



森宮優子には、五人の親がいます。その優子が結婚するまでの物語です。いつも笑っているのは二人目の母、梨花さんの教え。ピアノが上手なのは二人目の父、泉ヶ原さんのおかげ。血のつながりはないけれど、五人のおかげで、今の優子がいます。愛のバトンをつないでもらったということです。あなたはどうですか。きっと誰かがあなたの愛のバトンをつないでいます。この本を読んで家族の形や、愛のバトンについて考えてみませんか。

入選

中学生の部

青島北中学校

1年

青木 日鞠 さん

満月珈琲店の星詠み ～本当の願いごと～

B913.6モチ2

文藝春秋

望月 麻衣／著

桜田 千尋／画



場所も営業日も不明な「満月珈琲店」。三毛猫のマスターは、悩みを抱えた人々に特別なアイテムを使い、自分の願いに気づかせてくれます。本当に求めていることは何なのか。ページをめくるごとに明確になる主人公の希望と、自分自身の望みを照らし合わせながら読むと面白いです。誰かの助言を素直に受け入れることで、見えてくるものがあるという希望に気づかせてくれる素敵な一冊です。この本を読んで、自分の願いと向き合ってみませんか。

入選

中学生の部

西益津中学校

1年 伊東 愛理紗 さん

聖域

KADOKAWA
コムドットやまと／著



159ヤ

あなたは今、自分の人生に満足しているでしょうか。この本のテーマは「夢を叶える。」私にとっては少し遠い未来の話ですが、学生でも共感できる内容が多く一つ一つの言葉が胸にささりました。中でも自己肯定感という言葉が一番心に残っています。この言葉とエピソードを読み、自分を見直すきっかけとなりました。「可能性を解き放て」「嫌われる勇気」「本当の友達」この本を読んだ人が自分の人生に革命を起こすきっかけとなりますように。

入選

中学生の部

青島中学校

2年 田中 南萌 さん

ぼくはイエローでホワイトで、 ちょっとブルー

新潮社
ブレイディみかこ／著



376.3ブ

移民の子ぼくは底辺中学校に通い始めた。そこでの生活はまるで新しいものだった。人種が違うクラスメイトや人知れず貧困に苦しむ友達、そんな仲間達と共にぼくとその母ちゃんがたくさんの悩みを乗り越えて成長していく話。この本を読んでいると、人種差別に悩むなか、この世界の仕組みを考え、それぞれが抱える悩みを理解してつき進むという勇気と愛の大切さが伝わってきます。人種差別や貧困などを本を通して身近に考えさせられ感動する本でした。

入選

中学生の部

広幡中学校

3年 黒岩 優真 さん

ほお…、ここがちきゅうのほいくえんか。

ベストセラーズ
てい先生／著



376.1テ

わたしは、この本を読んで将来の夢が決まりました。この本は男性保育士である著者と保育園児のやりとりが書かれているものです。感動するエピソード、面白いエピソードなど保育園でしか見ることも聞くこともできない貴重な話がぎゅっとつまっています。だから、この本を読むと保育士になりたいという思いが強まります。まだ夢を見つけていない人、保育に興味のある人にはおすすめの本です。ぜひみなさんもこの本を見かけたら読んでみてください。

入選

中学生の部

藤枝中学校

3年 遠藤 匠 さん

夜のピクニック

新潮社
恩田 陸／著



913.6オン

この話は、異母兄妹で仲が悪い、貴子と融が高校最後のイベントとなる「歩行祭」で、融の怪我や友人達の計らいによって和解する話です。二人の過去からそれぞれが感じている想いの違い、アメリカに行った貴子の親友の計らい、二人の事情を知らない友人の二人に対する想いなど、とても興味深い場面がたくさんあり、学校行事の青春のよさが感じられる話となっています。気になった人はぜひこの本を読んでみてください。

入選

中学生の部

高洲中学校

3年 奥富 向日葵 さん

あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。

スターツ出版
汐見 夏衛／著



Y913.6シオ

親や学校のすべてにイライラした毎日を送る中学二年生の百合という女の子がこの物語の主人公です。ある日、百合は戦時中の日本にタイムスリップし、特攻隊員の彰と出会い、恋に落ちます。この本には戦時中の過酷な生活や好きな人との永遠の別れが書かれています。私たちの世代は戦争についてあまり知りませんがこの本を読むことで戦争に携わった人々の思いや過酷な生活を知ることができます。ぜひ読んでみてください。

入選

中学生の部

大洲中学校

3年 上野 はなび さん

桜のような僕の恋人

集英社
宇山 佳佑／著



B913.6ウヤ

カメラマンの夢を追う晴人が美容師の美咲に恋をする話です。やっとの思いで恋人同士になった二人。しかし、美咲は何十倍も速く老いてしまう難病を発症してしまいます。晴人だけには姿を見せたくない、一緒に歳をとる、当たり前事ができなくてごめんねと、ある決断をします。桜のように美しく切なく散ってしまう美咲。今を生きている事が奇跡だと思える、今ある時間を大切にしようと、私の中で生きるという考えが変わり、何度読んでも感動する本です。

入選

高校生の部

藤枝順心高校 1年 高井 美海 さん

コーヒーが冷めないうちに

サンマーク出版
川口 俊和／著



913.6カワ

とある喫茶店「フニクリフニクラ」。この喫茶店のある席に座ると“過去に戻れる”という不思議な都市伝説があるらしい。この本は、様々な事情を抱えた四人がその席に座り、過去は何をしても変えることが出来ないというルールがある中で会った相手に気持ちを伝え、心情を変化させていく物語です。私は読み進めるうちに回収される伏線にとっても感動しました。是非、自分がこの喫茶店に訪れ過去に戻れるならどうしたいかを考えながら読んでみてください。

入選

高校生の部

藤枝順心高校 1年 中藤 輝心 さん

大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした

ダイヤモンド社
クルベウ／著



929.1クル

藤田 麗子／訳

人間関係、仕事、勉強、恋愛で心が疲れてつらいとき、みなさんは、大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをしていますか？この本は、そういった方におすすめです。作者はSNSのフォロワーが二三人で韓国人気作家です。SNSでも「共感しかない！」と超話題になるほど！！たくさんの心温まるエピソードがあり心を癒やしてくれて、自尊心を高めてくれるような温かい言葉がたくさんあります。人知れず一人でつらいときに読んでみてはいかがでしょうか。

入選

高校生の部

藤枝順心高校 1年 山内 慈子 さん

ディズニーキセキの神様が教えてくれたこと

SBクリエイティブ
鎌田 洋／著



689.5カ

なぜディズニーランドには奇跡が満ちあふれているのか。それを教えてくれるのがこの本です。実話の一部に基づきながら、人間愛にあふれたウォルトの想いや真意を知ることができます。ディズニーのことを考えただけで、何か良いことがありそうな気持ちになれる、幸せになれると語る人は少なくないでしょう。それはいったいなぜなのか。キセキの神様とは何なのかを知れる本です。つらいことがあった人、元気をもらいたい人に特におすすめです。

入選

高校生の部

藤枝西高校 1年 牧野 愛叶 さん

冷たい校舎の時は止まる

講談社
辻村 深月／著



Y913.6ツジ

この本は学校に閉じ込められた八人の高校生が自分たちの過去を振り返りながら、学園祭で屋上から飛び降りた人物を思い出し脱出を試みるお話です。登場人物の一人一人について詳しく書かれており生活している環境や人間関係など、学生が共感できる部分が多くあると思います。五時五十三分で止まった時計の意味や飛び降りてしまった人物が誰なのかが分かったとき、とても驚きます。いろいろな感情が味わえて、自分を少し成長させてくれる一冊です。

入選

高校生の部

藤枝西高校

1年

山本 佳歩 さん

雷轟と猫

KADOKAWA
藤原 七瀬／著



913.6フジ

異常な父や余命宣告を受けた母、家出をした兄、複雑な家庭で育つ高校生の藤原七瀬の歪んだ日常を描いた物語。森で出会った不思議な猫や同じ学校の少女と関わりながら、自分の本質を理解し「何者か」に成っていく。七瀬が都合よく脚色された過去を見て、段々と自分の事を理解していく過程が色鮮やかに表現されているため、本の世界に引きこまれます。本当の自分とは何かを考え、向き合うことができるため、多くの中高生に読んでもらいたいと思いました。

入選

高校生の部

藤枝西高校

2年

引地 翔瑛 さん

天使になった犬達

オークラ出版
篠原 淳美／著



645.6シ

この本は飼い主に捨てられた犬や、保護された犬が殺処分される話です。日本では年間約五千頭の犬が殺処分され、一日約十五頭が毎日殺処分されています。年々減少傾向にありますが、殺処分される犬がこれだけいるのが現状です。この本からは殺処分される犬の姿や殺処分の方法を知ることができると共に、ペットを飼う時は責任を持って飼わなければならないことを実感します。ぜひこの本を読んで日本の犬に関する現状を知ってほしいと思います。

入選

高校生の部

藤枝西高校

2年

峯野 夏妃 さん

この冬、いなくなる君へ

いぬじゅん／[著]



B913.6イヌ

「この冬、君は死ぬ。」この言葉を伝えられた時、人はどう思うのだろうか。私が紹介したい本は一人の文具メーカーに勤める地味で大人しい菜摘が篤生と名乗る若くて弱々しい男に死を宣告される物語。この本を読んでも誰も直面する『死』とは何か改めて考えることができる。この本は自分と向き合い成長していけるような本。『死』とどう向き合うか、運命をどう変えるのか、一体篤生は何者なのかについて注目して読んでみて欲しい。

入選

高校生の部

藤枝西高校

2年

山村 花凜 さん

木曜日にはココアを

宝島社
青山 美智子／著



913.6アオ

この本は大木に隠れるように建っている「マーブル・カフェ」と繋がっている十二話の短編集です。カフェの店員さんと常連の「ココアさん」のお話や、卵焼き作りに挑戦するお話、保育園の先生のネイルのお話など、日常にある小さな出来事がもととなっています。その小さな出来事にとってもほっこりさせられる本となっており、日々の生活の中で小さな幸せを見つける方法を教えてください。皆さんもぜひ読んで、ほっこりしてください。

入選

高校生の部

藤枝西高校

2年 木村 花菜実 さん

クジラの彼

角川書店
有川 浩／著



913.6アリ

この本は、六つの恋愛短編からなるため読みやすく長編が苦手な人も楽しめる本です。自衛隊であるそれぞれの主人公を見て、仕事の大変さや物理的距離ゆえの恋愛の難しさが伝わります。ですがそれを乗り越える互いの思いやりが、読んでいて温かい気持ちになれます。終わりもスッキリするし、何より恋愛だけではなく様々な視点から考えられるため、本の世界に入り込んでしまいます。そんな魅力がたくさん詰まった素敵な本をぜひ読んでみてください。

入選

高校生の部

藤枝北高校

3年 鈴木 日菜 さん

カラフル

理論社
森 絵都／作



Y913.6モリ

この本は、生前の罪によって輪廻のサイクルから外されたぼくの魂が真という少年の体にホームステイし、自分の罪を思い出していくという物語だ。ガイド役の天使のプラプラと共に真として過ごすうちに、ぼくは人の欠点や美点が見えてくるようになる。また、視点を変えて物事を見ることで、本当の事実が見えてくるようになる。日常生活の中の人間関係、将来のこと・・・たくさんのことについて悩み、考えている人に読んでほしい一冊である。